

1 まちの基盤づくり

リニアインパクトを取り込むため、名鉄国府宮駅周辺の再整備を行うことで、名古屋圏における居住地としてのブランドイメージを高めます。また、緑を身近に感じる良好な住環境を形成するとともに、幹線道路の整備などにより市街地間の連携強化と広域交通の利便性の向上を図ります。

1-1 土地利用・住宅

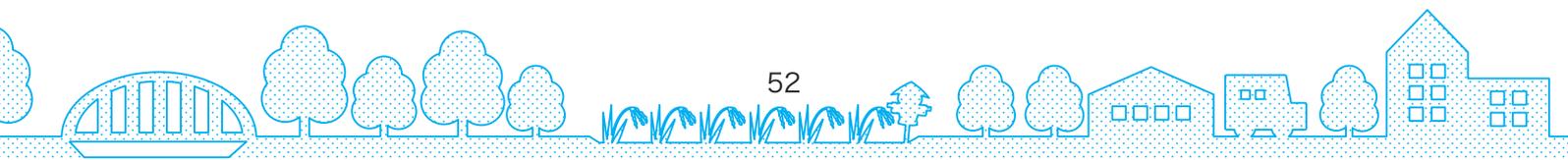
(1) 目標

名鉄国府宮駅及びJR稲沢駅周辺では、名古屋駅からのアクセス利便性が高いものの、低未利用地が多く、土地の高度利用がなされていないなど、定住やビジネス、商業の場としてのポテンシャルの高さを生かしきれていません。また、近年、住宅などの供給量が少なかったことが影響し、若い世代などが本市を居住の場として選択しにくい状況にあります。

そこで、名鉄国府宮駅周辺の再整備に加え、JR稲沢駅周辺の活性化を図ることで、都市拠点である両駅周辺を本市の玄関口にふさわしい空間にするとともに、住宅やオフィス、店舗などの立地を誘導するための基盤整備を進め、若い世代を中心に転入人口の増加を目指します。また、住み慣れた地区での定住を守ることで、市街化調整区域^{*}における人口流出を抑制し、コミュニティの維持につなげていきます。

(2) 個別計画

計画名	計画期間
稲沢市都市計画マスタープラン	2010（平成22）年度～2019年度（以降更新）
稲沢市住生活基本計画	2012（平成24）年度～2021年度（以降更新）
稲沢市空家等対策計画	2018（平成30）年度～2027年度（以降更新）



(3) 主な取組み

① 駅周辺機能の強化（名鉄国府宮駅及びJ R 稲沢駅） **重点戦略**

中心市街地としての都市機能を誘導し、にぎわいの創出を図るため、名鉄国府宮駅周辺の再整備に取り組みます。また、J R 稲沢駅周辺の公共公益業務用地の有効活用を図ります。

② 良好な宅地の供給 **重点戦略**

若い世代を中心に市外からの転入を図るため、名鉄国府宮駅及びJ R 稲沢駅周辺において、利便性の高い良好な宅地供給を図ります。

③ 地域コミュニティの維持に向けた定住施策 **重点戦略**

人口流出を抑制し、地域コミュニティを維持するため、名鉄国府宮駅・J R 稲沢駅以外の鉄道駅周辺や市街化調整区域*内の既存集落・住宅団地において住宅の建設の誘導を図るとともに、三世同居・隣居・近居の支援などに努めます。

④ 空き家対策の充実

『稲沢市空き家等対策計画』の中で、空き家の適切な管理を促進します。また、所有者からの相談体制を整え、空き家の利活用を支援します。



1-2 道路整備・公共交通

(1) 目標

本市の東西をつなぐ幹線道路は、整備が遅れており、鉄道との交差部分が交通を阻害して渋滞の原因になっています。そのことから、幹線道路の整備とともに立体交差化が求められています。また、より効果的・効率的な地域公共交通の充実についても求められています。

そこで、東西幹線道路の整備促進により、市民生活や経済活動における広域交通を強化するとともに、地域公共交通の充実により拠点駅や公共施設へのアクセスを向上させることで、市内及び市外との円滑で快適な移動の実現を目指します。

(2) 個別計画

計画名	計画期間
稲沢市都市計画マスタープラン	2010（平成22）年度～2019年度（以降更新）
稲沢市橋梁長寿命化修繕計画	2018（平成30）年度～2027年度
稲沢市コミュニティバス運行事業計画	—

(3) 主な取組み

① 幹線道路等の整備促進

円滑な広域交通ネットワークの形成を図るため、東西幹線道路である（都）祖父江稲沢線、（都）春日井稲沢線、（都）稲沢西春線などの計画的な整備を図るとともに、交差点の改良に努めます。

（注）「（都）」は都市計画道路を意味します。

② 生活道路等の整備

地域住民の生活環境の改善と市内交通の円滑化を図るため、道路の改良・改修などに努めます。また、老朽化が進む道路や橋梁については、修繕など適切な管理に努め、長寿命化を図ります。

③ 改良が必要な踏切の対策

国から改良が必要と指定された踏切については、鉄道との立体交差化による抜本的な対策が必要となるため、関係機関と連携し、地域の実情を踏まえ、その方法を決定していきます。

④ 地域公共交通の充実

拠点駅や公共施設へのアクセスを向上させるため、利用実態や費用対効果を勘案しながら、コミュニティバス運行事業の充実に努めます。また、交通弱者の社会参加を支援する仕組みとして、「デマンド型交通*」を含めた運行方式などの見直しを検討します。

⑤ 高速自動車道路の整備実現

中部国際空港や名古屋港へのアクセス道路、緊急避難道路として重要な役割を担う一宮西港道路の整備実現に向けて取り組みます。

▶ 関連する取組み

6-3-② 交通安全活動の推進及び交通安全施設等の拡充……P.85



1-3 公園・緑地

(1) 目標

本市は、木曽川の恵みを受け、自然環境豊かな地域を形成している一方で、都市緑化においては、市民一人当たりの都市公園面積が少ない現状があります。

そこで、木曽川周辺の自然環境や公園・緑地、河川などの地域資源を引き続き保全・活用するとともに、地域住民が愛着を持てる公園・緑地を整備することで、市民にとっての憩い・交流の場所を創出します。

(2) 個別計画

計画名	計画期間
稲沢市都市計画マスタープラン	2010（平成22）年度～2019年度（以降更新）
稲沢市緑のマスタープラン	2010（平成22）年度～2019年度（以降更新）

(3) 主な取組み

① 公園・緑地の整備

新たなまちづくりを展開していく地域において、地域住民や団体の意見を取り入れ、使いやすく特色のある公園や緑地の整備を行うとともに、維持管理に地域住民などの参加を促し、地域の愛着を深めます。

② 身近で豊かな緑づくりの推進

緑豊かな公共空間の創出に努めるとともに、市民が身近に緑を実感できる環境づくりのために、民有地における緑化を支援します。

③ 広域レクリエーション拠点の充実と利用促進

サリオパーク祖父江について、アクセス道路の整備や国営・県営・市営の3公園の一体的な整備を促進するとともに、年間を通じた利用を促し、広域レクリエーション拠点としての機能の充実を図ります。

